△ロコアテープ　［外］

【重要度】★★　【一般製剤名】エスフルルビプロフェン　Esflurbiprofen　【分類】経皮吸収型鎮痛消炎剤
【単位】△40mg/枚［1袋7枚］
【常用量】変形性関節症における鎮痛・消炎に1日1回貼付
【用法】1日1回，同時に2枚まで
【透析患者への投与方法】常用量であるが経口剤と同等の血中濃度になることに注意（5）
【保存期CKD患者への投与方法】重篤な腎障害患者には禁忌［経口剤と同等の血中濃度になるため腎毒性の発現に注意］（1）
【特徴】フルルビプロフェンの活性本体［S体］．変形性関節症における鎮痛・消炎に適用.
【主な副作用･毒性】ショック，アナフィラキシー，SJS，TEN，急性腎不全，ネフローゼ症候群，胃腸出血，喘息の誘発，皮膚炎など
【安全性に関する情報】他のNSAIDsの全身投与併用は原則避ける（1）
【F】単回50%，反復70%（1）
【tmax】6～17hr（1）
【代謝】CYP2C9でM1に酸化的に代謝される．未変化体および代謝物M1はグルクロン酸抱合，硫酸抱合により代謝（1）CYP2C9のEMに比べ，PM［*3/*3］患者では血中濃度が10倍に上昇（1）
【排泄】
【t1/2】7～8hr（1）
【蛋白結合率】99.95%（1）
【Vd】
【MW】244.26
【透析性】
【O/W係数】25［1-オクタノール/buffer，pH6.8］（1）
【相互作用】痙攣誘発のため，キノロンの一部薬剤とは併用禁忌（1）
【肝障害患者への投与方法】
【小児CKD患者における報告】
【妊婦・授乳婦への投薬】
【主な臨床報告】
【更新日】20240730

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。
※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。